

# 周南市生活支援体制整備事業

## 支え合いの まちづくり 活動事例集



ここから、ここつながる。  
周南市

周南市社会福祉協議会

# もくじ



はじめに .....	3
------------	---

## 中央エリア

遠石地区「遠石お助け隊ネコの手マゴの手」 .....	4
中央地区「地域住民が立ち上げた通いの場」 .....	5
今宿地区・関門地区・岐山地区 .....	6
周陽地区・桜木地区 .....	7
秋月地区・久米地区・櫛浜地区 .....	8
鼓南地区・大津島地区・有償ボランティア(有償助け合いサービス)ってなに? ...	9

## 西部エリア

菊川地区「住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会」 .....	10
夜市地区・戸田地区・湯野地区 .....	11
福川地区・和田地区・住民運営通いの場(いきいき百歳体操)とは? .....	12
富田西地区・富田東地区・高齢者の生活を支える相談機関より .....	13

## 東部エリア

八代地区「サロンへの移動支援」 .....	14
高水地区・三丘地区・勝間地区・大河内地区 .....	15

## 北部エリア

鹿野地区「鹿野の3K活動-協働・暮らしの応援隊・孤立防止-」 .....	16
須々万地区・長穂地区 .....	17
大向地区・大道理地区 .....	18
中須地区・須金地区 .....	19



本市では、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域の「つながり」や「助け合い」について地域住民と一緒に考え、支え合いのまちづくりを推進する「生活支援体制整備事業」を平成 28 年に開始しました。

事業開始にあたり、地域ごとに課題が異なることや、地域の実態に即した活動を実践するため、市内 31 地区のもやいネット地区ステーションに地域福祉コーディネーターを配置し、そのコーディネーターを中心に、地域の強みを活かした様々な活動が生まれています。

この「支え合いのまちづくり活動事例集」は、地域における活動事例や支え合いの必要性、それを支援する資源等の情報をまとめたものです。

多くの方に事例集をご活用いただき、これまでの活動の充実や新たな支え合いの仕組みづくりの参考・検討につなげていただければ幸いです。

令和 5 年 3 月

## 「地域福祉コーディネーター」とは

これからますます高齢者の独居世帯や高齢者夫婦世帯が増えていくなかで、地域というコミュニティになじみの関係をつくり、「互助」の機能を強化していくため、地域資源の把握・ネットワーク化やボランティア等の生活支援の担い手の養成、新たな地域資源の発掘・サービス開発等、人を地域社会や支援に「つなぐ」仕組みをつくるのが地域福祉コーディネーターの主な役割です。

周南市内では、35 名の地域福祉コーディネーターが各地区に配置されています。(令和 5 年 3 月時点)

## 遠石地区「遠石お助け隊ネコの手マゴの手」

1

### 地域の概要

人口：8,362人 高齢化率：31.2% ※

商業施設やスーパー、病院等があり社会資源は豊富だが、独居高齢者が多く、外出に困るとい声は少なくない。東西に長く南北に狭い地域のため、利便性の高い場所とそうでない場所に分かれる。

2

### 取組の背景・内容

#### 取組の背景

以前から住民同士による助け合い活動が行われていたが、**無償の支援では気負いを感じてしまう高齢者がいることが分かった。**

そこで、協議体において有償ボランティアの検討が始まり、令和3年9月に「遠石お助け隊ネコの手マゴの手」を開始した。

#### 取組の内容

30分あたり300円～1時間あたり500円で買い物支援やゴミ出し、居室の掃除などの日常のちょっとした困りごとを住民同士が助け合う活動が行われている。

お助け隊の協力員は主に福祉員。困りごとを聞き取りながら、お助け隊に繋げるだけでなく、公的なサービスが適切に利用できるよう地域包括支援センター等と連携したり、自分でできそうなことを共に考えたり、高齢者の背中を押す声かけも行っている。



有償ボランティア説明会

3

### 今後に向けて

#### 地域福祉コーディネーターより

今はコーディネーターとして、高齢者の見守り訪問やお助け隊の事務局を担っております。協議体としては今後も、地域食堂とお助け隊の2本柱で活動していく予定です。「より身近な地域で支え合う」ということを協議体のモットーとし、ひとりひとりの想いを大切にできる活動をしていきたいです。



遠石地区  
コーディネーター  
福永さん

#### ～活動を通してのエピソード～ (90代 Aさん)

以前から、近隣住民による毎週のゴミ出しの支援を受けていた独居高齢者のAさん。無償での支援に申し訳なさを感じ、困りごとをなかなか発信できなかったそう。有償ボランティアが開始されたことで、支援者も活動者も気負いなく活動できるようになり、Aさんもとても喜んでおられた。



※各地区の人口および高齢化率は令和4年9月30日時点



# 中央地区「地域住民が立ち上げた通いの場」

1

## 地域の概要

人口：5,052人 高齢化率：31.0%

徳山駅を中心に、南は工業地帯、北は新しい賑わいが生まれつつある中心市街地が広がる。現在進められている駅前再開発事業により、街の活性化が期待されている。

2

## 取組の背景・内容

### 取組の背景

協議体「いきいき・ちゅうおう」では、民生委員の「見守りをを行っている高齢者の中には、閉じこもり気味で誰とも話さずに日中を過ごす人が多い」という意見を受け、高齢者の居場所づくりの検討を開始した。

かねてより、区内での会場の確保が課題であったが、かつて商店だった空き店舗の活用に悩む住民と思いが一致し、高齢者の居場所として週1回いきいき百歳体操を実施する「有楽町通いの場」が地域住民の力で立ち上がった。（令和3年8月より）



空き店舗は2階



茶話会の準備中

### 取組の内容

「有楽町通いの場」の参加者は約15名で、民生委員、福祉員が中心となって運営しているが、準備や片付けは参加者全員で協力して行っている。体操の後には茶話会を実施しており、交流の楽しさや役割の大切さを実感する人も多い。この取組が、介護予防だけでなく、人と人との繋がりが生まれる場所にもなっている。



通いの場の参加者

3

## 今後に向けて

### 地域福祉コーディネーターより

協議体が始まって4年、有楽町含め、2か所の通いの場を協議体で立ち上げ、活動を継続しております。

街中ゆえに近所付き合いも山間部より希薄で、**独居の高齢者には孤独感や寂しさを感じる方も多く**です。駅前の再開発による街の活性化も期待していますが、高齢者がもう少し気軽に集まって、運動やゲームなどができる場を作り、1人でも多くの高齢者の寂しさが解消されるような取組を考えていきたいです。



中央地区  
コーディネーター  
貞弘さん

### ～活動を通してのエピソード～（80代 Bさん）

病気により外出がしづらい状態となってしまったBさん。迷惑をかけるかもしれないという気持ちはあったが、参加者の「来てほしい」という声かけをきっかけに通いの場に参加し始めたとのこと。

「病気になっても受け入れてくれる場があるのはありがたい。体操やおしゃべりができてとても楽しい。元氣な限りずっと来たいと思っている。」と話された。



## 今宿地区

人口：8,272人 高齢化率：32.5%

今宿地区はスーパーなどの買い物をする場所や学校、病院といったさまざまな施設が揃っており、全体として暮らしやすい地域です。

平成31年度に、今宿市民センターにおいて「今宿カフェ」が発足し、**高齢者の方が気軽に集まれる場**として開店しています。毎回異なる催し物を企画し、来ていただいたみなさんに楽しみながら、つながりを持っていただけるようにしています。

今後も地域のコーディネーターとして、さまざまな立場の方の考え方や思いに耳を傾け、みなさんと一緒に住み良い今宿をつくるお手伝いをさせていただきたいと思っています。

今宿地区  
コーディネーター  
金井さん



今宿カフェ

## 関門地区

人口：6,839人 高齢化率：23.4%

関門地区は、銀行や駅、市役所などへのアクセスが良く、スーパーも充実しているため、住みやすいと感じられる地区です。その反面、一部の地域では施設へのアクセスが困難であり、バスも通っていないため、不安の声も聞かれます。

現在、週3回の見守り訪問活動を行っており、日頃から地域との関わりを持ちながら、高齢者の方を見守っていきたいと思います。



関門地区  
コーディネーター  
濱岡さん

## 岐山地区

人口：9,303人 高齢化率：31.5%

岐山地区は、地区社協が核となり、「いきいき～さん協議体」を設置しています。協議体では、「**困りごと支援サービス**」の情報紙を作成し、高齢者世帯へ配布をし、居場所の拡充として小学校でサロンの立ち上げをしております。

令和5年4月より**有償ボランティア「き～さん生活応援隊」**が活動を開始します。何度も話し合いを重ね、協議体の中で地域でいきいきと暮らせる活動を創出しています。

コーディネーターとして訪問活動等から見える高齢者のニーズを地域の活動に繋げたり、専門の相談機関に繋ぐ橋渡し役を今後も担っていきたいです。



「困りごと支援サービス」の情報誌



岐山地区  
コーディネーター  
田邊さん



協議体の様子

## 周陽地区

人口：4,448人 高齢化率：36.7%

周陽地区は公営住宅を含め集合住宅が多く、総合病院が近いこともあり、他地区からの高齢者の転入が多いです。

令和元年11月に協議体「隣隣くらぶ」が発足し、百歳体操や地域カフェ、ラジオ体操などの集いの場づくりをしてきました。

令和4年1月からは、有償ボランティアの「周陽生活応援隊」が立ち上がり、多くの相談をいただいております。

「隣隣くらぶ」は、“持続可能な活動をめざすこと”をモットーとしており、今後も「困っている人を支えたい」という共通の思いのもと、地域に寄り添った活動をできる限りしていきたいです。



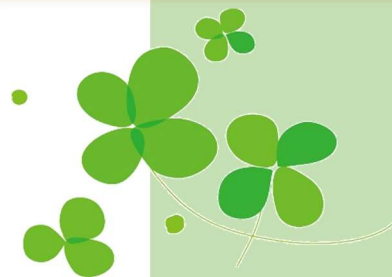
応援隊作業中



周陽地区  
コーディネーター  
松原さん



移動販売車を活用したラジオ体操



## 桜木地区

人口：5,764人 高齢化率：30.5%

周南団地の一画を形成している桜木地区は、周南市の南東に位置し、桜木・城ヶ丘・平原町の3つの町から形成され、北側に周南公立大学（旧徳山大学）、徳山高専を有し、そこから南側へと広がる閑静な住宅地です。国道2号線で地区が2分されているため地域の活動や居場所が分断されがちです。坂道も多く、スーパー等がないので、買い物が困難という声から協議体で移動販売を誘致しました。

今後は、有償も含めたボランティアについて検討し、高齢者への困りごとへの取り組みを進めていきます。

桜木地区  
コーディネーター  
高久さん



移動販売



## 秋月地区

人口：6,400人 高齢化率：30.5%

協議体発足後、地域住民の方と定期的に話し合いを進めてきました。高齢者世帯に困りごと調査を実施し、取り組むべき課題を明確化しました。その中で、気軽に集える場を作ることを目的として話し合いを進めていましたが、新型コロナウイルスの影響で、協議体の活動は一時中断していますが、**再開を検討**していく予定です。また、見守り・訪問活動についても必要と思われる方にご本人の同意を得て随時行っています。今後も住み慣れた地域で、自立した生活を送ることができるように、人と人をつなぎ、気軽に相談してもらえるコーディネーターとして活動していきたいと思っています。



秋月地区  
コーディネーター  
藤田さん

## 久米地区

人口：9,284人 高齢化率：27.1%

令和元年3月に立ち上げた地域課題を話し合う場「くめ輪(くめりん)」も今年で4年目を迎え、認知症や災害について勉強会を重ねてきました。この「くめ輪」での意見から、令和4年9月から移動図書館の久米支所来館に合わせ、**支所ロビーでカフェ**を行っています。まだまだ始まったばかりですが、買い物帰りの高齢者のちょっとした休憩場所として、また地域の皆さんの憩いの場になればと思っています。



くめみんカフェ



久米地区  
コーディネーター  
小西さん

## 榑浜地区

人口：5,889人 高齢化率：32.0%

令和4年6月に協議体「ケアネット榑浜」が設置されました。また、榑浜地区社協が実施した**住民アンケートでの意見**から、久米・榑浜・鼓南の各支所、行政、関係機関との協議により、**粕島～榑浜～久米経由で徳山中央病院に行けるバス路線の運行**が始まり、課題が少しずつ解決されています。住民同士のつながりも強く、お互いが気にかけて合う風土がある土地柄だと思います。コーディネーターとして、これからも地域の人と人をつなぐ役割ができればと思っています。



榑ヶ浜地区  
コーディネーター  
江藤さん



## 鼓南地区

人口：861人 高齢化率：56.6%

夢プランから立ち上がった有償ボランティア「鼓南おたすけ隊」が活動しています。現在は草刈りや庭木の剪定等の仕事为主ですが、**ゴミ出しに困っている方の支援にも取り組んでいます**。令和4年7月からは月1回のこども食堂も始まり、地域の交流の場も生まれました。

私も地域の様々な活動に関わりながら、ちょっとした困りごとを抱えた方の声を聴き、おたすけ隊をはじめ、地域の方にその声を届けていきたいと思っています。



「鼓南おたすけ隊」チラシ



鼓南地区  
コーディネーター  
東さん

## 大津島地区

人口：197人 高齢化率：80.2%

コミュニティ推進協議会主体の「しまサポ」の立ち上げにより、**住民のちょっとした困りごとが少しずつ解決**できるようになりました。

通いの場の活動も続けられており、皆さん元気に通ってこられます。

不便なこともある島の暮らしですが、住民同士が支え合っておられます。住民の皆さんが元気にできるだけ長く、住み慣れた大津島で生活できるよう、お手伝いできればと思っています。



移動販売



大津島地区  
コーディネーター  
小倉さん

## 有償ボランティア（有償助け合いサービス）ってなに？

有償ボランティアは、自分たちの住むまちを自分たちの手で住み続けられるようにしたいという思いを形にした住民自身による地域福祉活動です。

サービスを利用する人も提供する人も、同じ地域に住む住民同士『みんなで助け合っていこう』という趣旨で行われ、全国的に活動が広がっています。

市内にも10か所以上の有償ボランティア団体があり、各団体のペースで、地域の強みを活かした活動が行われています。

草抜きや庭の剪定、居室の掃除やゴミ出し、買い物などちょっとした困りごとを住民同士で助け合うだけでなく、参加している人々の生きがいにも繋がる活動です。



## 菊川地区「住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会」

1

### 地域の概要

人口：7,841人 高齢化率：30.5%

菊川地区は市の北西部に位置し、下上（富岡）・上村（加見）・四熊・小畑で形成されている。富田川が中心部を南北に流れ、県道がそれに沿って走っている。JR 新南陽駅から約 10 分と比較的、利便性のよい地区で大規模工業群のベッドタウン化しているが、それに反し、四熊・小畑地区は山間部であり過疎・高齢化が急速に進んでいる地域でもある。

2

### 取組の背景・内容

心のふれあう文化的で明るく住みよい地域の実現を目指して始まった「菊川地区の夢プラン」が、高齢者の困りごとについて話し合う場であったことから、令和元年度の策定に向けた検討の段階当初から参加している。

令和3年度からは50代以上に向けた夢プランを実現するメンバーとして、「買い物に困らない」、「日常の困りごとのない」、「健康で元気な方が多い」菊川地区を目指し活動を重ねてきた。最初の活動として、移動販売車の停車場各所に赴き、販売員や利用者に対し、移動販売の実態調査を行った。現在は買い物や日常の困りごとを助けてくれる事業者や、行政サービスなどをまとめた、「困りごと対応一覧表（仮称）」を作成し、地域住民に配布することを目指し活動中。今後も地域住民同士が「結びあう支援」を行っていく予定。



移動販売



移動販売に関する実態調査

3

### 今後に向けて

#### 地域福祉コーディネーターより

地域福祉コーディネーターの域を出ませんが、夢プランの一委員として色々なことに取り組んでいます。近い将来、川曲・四熊・中野線の路線バスが廃止となります。このようなことから、移動手段・移動販売等について皆さんと共に検討していきたいです。

菊川地区  
コーディネーター  
比上さん



スタートから丸8年が経ち、常に笑顔と緊張感を持ち活動させていただいています。夢プランで、移動スーパーの実態調査をした際、皆さんの笑顔を見てかつての「井戸端会議」を思い、こんな日常が増えればお互いの生活に笑顔が増えるのではと思いました。

菊川地区  
コーディネーター  
貞森さん



## 夜市地区

人口：2,474人 高齢化率：38.4%

夜市地区では、地域の高齢者の方のちょっとした困りごとをお手伝いすることを目的に、平成26年5月に「夜市地区安心生活応援隊」が発足しました。会の立ち上げや活動に関わらせていただきました。また、平成27年度から地域の方ならどなたでも参加できる自主運営グループ、カフェ「どうしん」を毎週1回開催しています。現在は、新型コロナウイルス感染防止のため感染状況を把握しながら、皆さん楽しんで自主的に活動されています。どちらの活動も、夜市地区の地域福祉活動へ関わってこられた地域の諸先輩方と地域の方々の声から始まったものです。特に、カフェ「どうしん」は口コミで参加者が増えています。

夜市地区の福祉課題は移動手段ですが、現在、夢プランのなかで検討中です。



カフェどうしんで作られた百合の花

夜市地区  
コーディネーター  
内藤さん

## 戸田地区

人口：3,060人 高齢化率：37.4%

戸田地区は、国道2号線に道の駅ソレーネ周南があり、近年アパートが立ち並ぶベッドタウンです。若い人たちも多くなった反面、昔から住んでいる方たちの高齢化が進んでいます。昔から近所付き合いも良く、近所同士で思い合う心が育っています。

今後は、これがもっと広がっていくように、高齢者の困りごとについて地区で話し合いの場をもち、取り組んでいこうと思います。



サロン 一笑会

戸田地区  
コーディネーター  
西嶋さん

## 湯野地区

人口：1,228人 高齢化率：49.7%

湯野地区は、水のきれいな川や温泉など豊かな自然に恵まれ、宿泊施設や足湯など観光地としても有名な歴史のあるまちです。市街地から離れているため、高齢者は買い物に困っている方が多いです。また、バス停まで遠いので歩いて行けず、便も少ないので通院などの移動手段がないことも困りごとの一つです。

経験が少なく、わからないところが多いですが、今後は地域で情報共有の場をもち、困りごとについて話し合っていきます。

湯野地区  
コーディネーター  
藤村さん



## 福川地区

人口：8,522人 高齢化率：36.7%

福川地区は市内でも古くから漁業で栄えた地域で高齢化率も高いです。健康のこと、住まいのこと、人間関係のことなど、様々な困りごとがあります。地域では、いきいきサロンや百歳体操を取り組んでいますが、**コロナ禍で活動が制限されているところも多いです。**

住みよい地域をどう作るか、地域の人たちと考えていきたいと思います。



サロン さくらの会



福川地区  
コーディネーター  
竹田さん

## 和田地区

人口：1,122人 高齢化率：54.4%

和田地区は周南西部の北部に位置しており、令和3年度より和田中学校は富田中学校に統合され、小学校は令和5年度、6年度の新入生の予定がないそうです。病院、商店もなく、高齢者は移動販売を利用しています。地区内は**5支部**に分かれており、それぞれの**支部で週1回の百歳体操**が実施されており、近隣の方々とも交流ができています。

コーディネーターとしては、福祉サービスに繋がらない方や民生委員から依頼のあった方、福祉員からの情報などを手掛かりに独居高齢者や山奥で移動手段がない方などを訪問し、不安や孤独感なく、笑顔で住み慣れた思い出の多い場所での暮らしが続けられるよう見守りができたらいいなと思っています。また2か月に1回民生委員協議会にて情報の共有を図っています。



和田地区  
コーディネーター  
佐藤さん



百歳体操

## 住民運営通いの場（いきいき百歳体操）とは？

周南市では、平成26年度から、地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防への効果が実証されている「いきいき百歳体操」を週に1回、5人以上で取り組む地域の通いの場づくりを進めています。

取り組むかどうかを決めるのは住民のみなさんで、運営も住民主体で行います。

活動内容は、いきいき百歳体操の他は自由で、レクリエーション、お茶会、踊りなど各グループで楽しく活動しておられます。

現在通いの場は、市内全31地区コミュニティ・133か所（令和5年3月時点）となり、約1,600名の高齢者が活動し、心身の効果を実感しています。



- ★ベッドからの起き上がりが楽になりました。
- ★みんなと話して笑顔になれます。なにより楽しい！
- ★生活にハリができました。

## 富田西地区

人口：10,193人 高齢化率：27.8%

富田西地区は総合支所や郵便局、商業施設もあり比較的利便性の良い地区です。

高齢者のお宅を訪問すると生活面よりも健康面を心配される方が多いようです。また、コロナ禍で外出する機会も減少し、「**誰とも話すことがないので寂しい。**」との声も多く、話し相手になることも多くあります。いきいきサロンや百歳体操などの集いの場の活動状況を皆さんにお知らせしていきたいと思ひます。



富田西地区  
コーディネーター  
福田さん

## 富田東地区

人口：9,696人 高齢化率：26.7%

富田東地区は JR 新南陽駅や大型店舗がある新南陽地区の中心地に位置し、買い物や病院等、利便性の高い地区です。一方、中心地から少し離れると、路線バスが廃止された地域もあり、不便と感じているとの声もお聞きします。

コロナ禍で外出を控えている方も多く、訪問や電話等で関わることで、他愛ない会話を喜んでくださったり、日常的にかかわりを持つことの大切さを感じています。



富田東地区  
コーディネーター  
堀江さん



福祉員研修会

## 《高齢者の生活を支える相談機関より》

後期高齢者の増加に伴い、地域が抱える課題は多様化、複雑化する中、フォーマルな支援だけで地域に暮らす高齢者のくらしに必要な支援を完結させることは難しい時代となりました。

また家族と疎遠になり地域でも孤立している高齢者が増えてきましたが、ケアマネジャーは、家族の代わりになって支援できないことも多いのが現状です。その中で、地域福祉コーディネーターさんの温かい関わりや、有償ボランティアの利用で困りごとを助けてもらうこと以上に、**地域との繋がりを実感したという喜びの声**も高齢者の方から聞いています。

困ったときの『地域の助け合い活動』は地域の高齢者にもケアマネジャーにも広がっていることを実感しています。



つづみ園地域包括  
支援センター職員

## 八代地区「サロンへの移動支援」

1

### 地域の概要

人口：585人 高齢化率：53.7%

本州唯一のナベヅルの渡来地で、古くから地域住民による自然環境保全活動が積極的に行われているほか、見守りやサロン活動等を通じて、相互に助け合える地域づくりを進めている。

2

### 取組の背景・内容

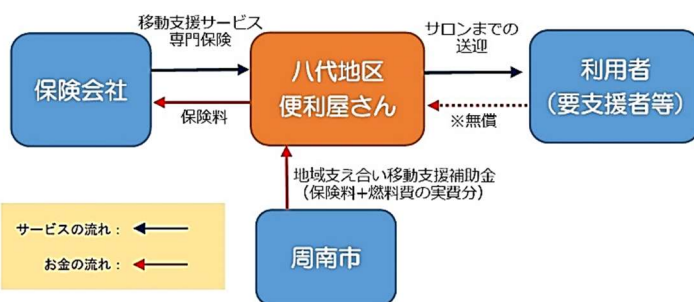
平成27年より、気軽に頼める仕組みが欲しいとの声から有償ボランティアの「便利屋さん」が活動をしている。

地区内のサロンは多くの高齢者の居場所となっており、善意で送迎もしていたが、参加者や担い手も年を重ね、通い続けるための仕組みが課題となっていた。

そこで、令和4年4月より「便利屋さん」が担い手となり、市の補助金を活用することで、もともと行っていた移動支援の取組を安心して継続する体制を整えた。



「便利屋さん」



3

### 今後に向けて

#### 地域福祉コーディネーターより

コロナ禍でサロンへの参加に不安を持つ人もいますが、今後もこの移動支援の仕組みを活用し、多くの住民にサロンに参加してほしいと考えております。「便利屋さん」も少人数で頑張っておられるため、活動の周知もしていきたいです。これからも地域の皆様との関係を密に、相談においては想いをしっかり傾聴し、繋いでいきたいと思っております。



八代地区  
コーディネーター  
直江さん

#### ～活動を通してのエピソード～八代地区社会福祉協議会 徳本さんより

サロンは、会場まで家が近い人や元気に歩ける人、車の運転ができる人は気軽に参加できます。しかし、冬の雪の降る中自転車のペダルを踏んで来られる方、障害があって移動が困難な方、杖をついて一生懸命歩いてこられる方の姿を見て、高齢者の送迎についてもっと公に対応できないものかという想いがずっとありました。市などに相談し、移動支援の取組を開始しましたが、まだまだ課題はあります。これから安心して移動支援を利用できる人が増えていくと嬉しいです。



## 高水地区

人口：1,642人 高齢化率：50.9%

高水地区は山間地域であり、坂道が多く、車がないと移動が不便です。困りごとのアンケート結果をもとに**地区社協での取組として買い物支援を開始**しました。サロンは17ヶ所あり高齢者の通いの場が充実しています。コーディネーターとして、一人ひとりと話しながら寄り添い、応援していけたらと思っています。



移動販売



高水地区  
コーディネーター  
末廣さん

## 三丘地区

人口：1,454人 高齢化率：53.8%

三丘地区は担い手の高齢化のため、サロン活動をやむなく中止されたり、免許証返納等で交通の手段がなく公共交通機関も光方面に集中しており、総合支所等へはタクシーを利用されています。

サロン活動や集会所の通いの場へ参加したい思いはあっても、移動手段がなく、**結果的に閉じこもっている**高齢者の方もいます。**気軽に参加できるような居場所づくりが必要**であり、大切なことだと思います。



花水木の会



三丘地区  
コーディネーター  
小川さん

## 勝間地区

人口：4,123人 高齢化率：42.3%

勝間地区では、11グループごとに需給調整会議を年に2回開催し、小地域見守りネットワークの充実を図っています。会議では、民生委員児童委員、福祉員、地区社協役員等で対象者の見守りの必要度や方法を検討し孤独死リスクを軽減しています。

サロンは9ヶ所にあり、「ハロークラブ緑ヶ丘」では、コロナ禍にあつての運動不足を補うため、体操の動きを連続写真で掲載し、毎月手渡しでお顔を見ながらお届けしています。**コロナ禍で休止していたサロンも再開**され、皆さんの笑顔と共に生きがいづくりに努めていきます。



ハロークラブ緑ヶ丘



勝間地区  
コーディネーター  
相本さん

## 大河内地区

人口：2,591人 高齢化率：46.2%

大河内地区にはスーパーはなく、買い物に行くなら基本的には車が必要です。不便ではありますが、コープや移動販売等を利用されたり、病院に行く便で買い物して帰る人も多くいます。

見守り訪問をする中で、様々な情報をお知らせしたり、地域の皆様のお力を借りながら明るい地域にしていきたいと思っています。



大河内地区  
コーディネーター  
藤井さん

## 鹿野地区 「鹿野の3K活動-協働・暮らしの応援隊・孤立防止-」

1

### 地域の概要

人口：2,716人 高齢化率：54.0%

鹿野地区は、市内中心部から車で北に50分程の山間部にある地域で、山・川・田園・草花等美しい原風景が広がっている。隣近所で助け合う習慣の残った人の温かさを感じられる地域である。



2

### 取組の背景・内容

#### 取組の背景

夢プラン作成の調査結果の中に「買い物に困る」「草刈りができない」「雪かきができない」などの意見があり、困りごとが明らかになった。そこで、他地域の状況も参考にしながら話し合いをしてきた。令和4年、鹿野のコミュニティ団体である「明るく元気な鹿野をつくる会」の事業計画に「暮らしの応援隊」の創設が位置づけられたことを受け、具現化するために協議体での協議が開始した。

#### 取組の内容

協議体では、夢プランと協働し、暮らしの中のちょっとした困りごとを解決する「暮らしの応援隊」の立ち上げに向けて話し合いを進めている。

協議体の構成員は夢プランの「にこにこ助け合いチーム」のメンバーが主であり、仲間を増やしながら、鹿野の住民がにこにこ暮らすことのできる体制をつくっていききたいと協議している。

3

### 今後に向けて

#### 地域福祉コーディネーターより

見守り訪問の中で、高齢者の方といろいろな話になります。高齢になると暗い話題になることも困りごとの相談ももちろん多いですが、高齢者の方が明るく元気な毎日を送れるように楽しい明るい話ができるように心がけています。

鹿野地区は、人口減少や社会資源の不足などピンチの状況にあります。しかし、だからこそ、「何とかしなければならぬ」という気持ちが住民のモチベーションとなり、様々なチャレンジが行われています。その一つが「暮らしの応援隊」です。このシステムを構築し運営していく過程で今まで埋もれていた人材を巻き込み、地域の力の底上げをしていきたいと考えています。ピンチだからこそチャレンジを！チャレンジの先にチャンスがある！そんな気持ちで今後も活動を続けていきます。

鹿野地区  
コーディネーター  
岡成さん

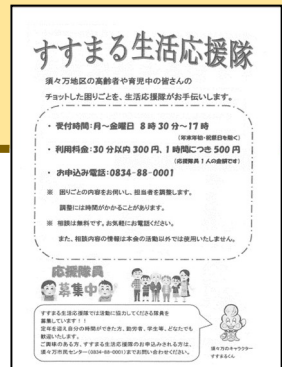


鹿野地区  
コーディネーター  
藤本さん

## 須々万地区 人口：4,284人 高齢化率：40.5%

須々万地区では、有償ボランティアとして「すすまる生活応援隊」の活動が広がっています。

事務局  
政木永光さん  
にお聞きしました！



### 《すすまる生活応援隊について》

須々万地域は周辺地域との流通が交差する北部の拠点です。

暮らし良い町ではありますが、**家族の支援が難しい高齢者世帯や子育て世帯**が増えてきました。

そのため地域の有志で、令和3年4月に「**すすまる生活応援隊**」を結成しました。

現在協力隊員は23名、利用登録者は35名、利用件数は99件、活動者数は165名になりました。(令和4年9月末集計)

しかし須々万地区のまちづくり推進協議会が実施したアンケートによれば、何らかの支援を希望する人は700名を越え、それに比べると周知度や利用度はまだまだで取り組み方を工夫する必要があると感じています。

現在、活動は協力隊員の皆さんのご厚意と地域愛が頼りですが、活動が地域に根付いていけばもっと住みやすい魅力のある地域になるのではと思っています。

コーディネーターとして見守り訪問の際に「すすまる生活応援隊」を紹介させていただくことも多くあります。

今後も、ひとりひとりが安心して暮らせる須々万地区になるように助け合い支え合いの活動に繋げていきたいです。



須々万地区  
コーディネーター  
國廣さん



須々万地区  
コーディネーター  
貞本さん

## 長穂地区 人口：618人 高齢化率：56.5%

長穂地区は蛍の名所としても知られ、お米がとてもおいしい地域で、昔ながらの近所付き合いが盛んです。

認知症や要介護状態となっても在宅生活を続けている方、在宅生活を続けたいと希望される方が多いのも良好な繋がりのある地域だからこそと思っています。

最近では**高齢者2人世帯でどちらかの介護が必要となる方が多く**、定期的に訪問や声掛けをし、重層的な見守り活動をしています。高齢化や担い手の課題はありますが、夢プランの高齢者対策部会に協議体が設置されており、世代間交流イベントを企画したり、いつまでも住み慣れた町で安心して生活できるように、サロンなど高齢者の居場所の拡充を検討しています。



長穂地区  
コーディネーター  
加納さん



高齢者サロン



## 大向地区

(向道)人口:630人 高齢化率:63.0%

大向地区はお米や野菜づくりが盛んな地域で、畑仕事が生活の一部となっている人が多いです。

地区内にスーパーや病院はなく、**高齢者の買い物や移動手段の確保が以前からの課題**です。市民センターは住民にとっての集いや情報収集の拠点であり、住民にとって大切な場所です。

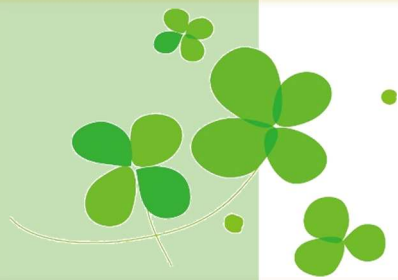
コロナ禍で大人数で集うことが難しくなり、コーディネーターとしては訪問先で高齢者の話し相手を担うことがとても多くなりました。今後は、少ない人数で「**気軽にちょっとおしゃべりできる場所**」ができると良いなと思い、地域で考えていきたいです。



大向地区  
コーディネーター  
青木さん



配食サービス後の話し合い



## 大道理地区

(向道)人口:630人 高齢化率:63.0%

大道理地区は、熊や猪等が出る長閑な山間部にあり、高齢者でも車を運転し、田畑の管理をする人が多いです。組織として、「大道理を良くする会」があり、交流部、経済部、互助部、自主防災部に分かれ、ますます高齢化していく住民を支える活動をしています。

目標は「住んでよかった、住んでみたい、訪れてみたい大道理」です。**有償ボランティア「便利屋」**では、植木の剪定、草刈り、田植え、稲刈り等の支援を行っています。**住民は支え合いの意識は高いですが、辛抱強く、自立心もあり支援を拒む人も多い**と感じます。

支援が必要と思われる方には、本人家族と信頼関係を築き、民生委員、福祉員、近隣住民の協力を得る、必要に応じ専門機関へ繋げることで、ここ大道理で暮らし続けてほしいと思います。



大道理地区  
コーディネーター  
篠原さん



「便利屋」作業中

## 中須地区

人口：613人 高齢化率：59.2%

中須地区は山間部で昔から福祉員の見守り活動も手厚く、住民同士の支え合いの気持ちも強い地域です。高齢化が進む中、**高齢者が気軽に集える場所が少ない**という課題がありました。新型コロナウイルス感染症の影響で一時は中止していたサロンも現在は全て再開され、コロナ禍でも出来る活動を継続されています。サロンの参加者には85歳以上の方もおり、**送迎の支援をしたり、認知症や疾患を抱えていても参加できるように工夫**されています。

「サロンに来ることが楽しみ」という方も多く、**コロナ禍を経て集うことの大切さを感じます。**

コーディネーターとして、今後も顔の見える繋がり、関係性づくりを大切にしていきたいです。



中須地区  
コーディネーター  
久隅さん



花咲きサロン



## 須金地区

人口：270人 高齢化率：70.7%

須金地区は市の中心部から車で40分かかる位置にあります。なし、ぶどうを育てる観光農園が盛んでシーズンには多くの観光客が訪れます。地区社協ではコロナ禍でも、住民同士の交流、例えばちょっとしたお茶会、焚火を囲んでおしゃべり、清掃グループに対して、日ごろの集まりが楽しくなるように支援する取組や、**LINEを使用した情報交換などの新しい取組**をおこなっています。地区社協でお困りごとを支援するサービス「**すがね生活安心助けあいグループ**」もありますが、困ったら支え合おうという意識が昔から高く、**自然と住民同士で助け合っており、高齢になっても役割を持ち、元気に生活されている方が多い**です。

今後も高齢化が進みますが、これまで通り一人一人の暮らしを大切にしたいと思っております。



須金地区  
コーディネーター  
永野さん



交流促進事業 チラシ



## 周南市社会福祉協議会

2023年3月

発行 周南市こども・福祉部 地域福祉課 地域包括ケア推進担当  
周南市社会福祉協議会 業務課 地域福祉係